

獨協大学平成25年度事業報告

平成25年度もこれまでどおり、「攻め」の改革を継続しました。特に教学部門では経済学部新学科「国際環境経済学科」を開設し、その運営支援に努めました。

また、平成26年度に本学が創立50周年を迎えることから、「創立50周年記念事業」の一環として、創立50周年記念館（仮称）建設計画に着手しました。あわせて、「獨協大学五十年史」の編纂を進め、寄付金募集事業を開始しました。



国際環境経済学科設立記念シンポジウム

平成25年度 事業報告書(主な内容)

(単位：百万円)

| | 事業内容 | 結果・備考等 | 予算 | 実績 | 差異 |
|------------|---------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|--------|--------|-------|
| 教学関係 | 1) 国際環境経済学科開設支援 | 1) 平成25年4月に開設された「経済学部国際環境経済学科」運営支援に努めました。 | 3.0 | 3.4 | △0.4 |
| | 2) 「学習ポータルサイト」運営支援 | 2) サービス開始から3年目を迎えた「学習ポータルサイト」の円滑な運営支援に努めました。 | 20.4 | 18.0 | 2.4 |
| | 3) 全学共通カリキュラムの英語教育支援 | 3) LMSシステムの運用、英語共通教材の作成等全学共通カリキュラムの英語教育促進に努めました。 | 22.0 | 22.2 | △0.2 |
| | 4) 大学院教育の活性化と志願者増に向けた広報展開 | 4) 広報活動強化を図り、志願者増に努めました。 | 3.0 | 2.1 | 0.9 |
| | 5) FD、SD活動の推進 | 5) FD、SDを推し進め、教育環境改善他に努めました。 | 5.9 | 6.6 | △0.7 |
| | 6) 国際交流活動の推進 | 6) NAFSA年次総会やアジア留学フェア(APAIE)に参加し、広報活動を展開するとともに、新規協定校開拓に努め、新たに5校と協定を結びました。 | 10.0 | 5.8 | 4.2 |
| 学生サービス・その他 | 1) 東日本大震災罹災学生の支援 | 1) 東日本大震災罹災学生に対し、引き続き学納金減免の特別措置を講じました。 | 30.0 | 15.8 | 14.2 |
| | 2) キャリア形成教育、キャリアカウンセリングの支援 | 2) 変動して行く就職環境への対応として、引き続き、キャリアカウンセラーによる就職支援に取り組みました。 | 10.2 | 15.7 | △5.5 |
| | 3) 奨学金の拡充(「父母の会」からの援助他) | 3) 「父母の会」からの支援により「獨協大学父母の会奨学金」を引き続き100名に給付しました。 | 27.0 | 26.0 | 1.0 |
| | 4) 「創立50年史」の編纂 | 4) 『獨協大学五十年史』編纂委員会を中心に作業を進めています。 | } 20.0 | } 10.9 | } 9.1 |
| | 5) 「創立50周年記念事業」の準備 | 5) 学生センター東側壁面に、創立50周年ロゴマークの巨大ポスターラッピングを制作し、「創立50周年」に対する意識の向上を図るとともに、PRに努めました。 | | | |
| | 6) 「創立50周年記念寄付金募集」事業 | 6) 創立50周年記念事業の実施に向け、寄付金募集事業を開始しました。 | | | |
| | | | | | |
| 施設・設備関係 | 1) 「伝右川水辺再生事業」に係わる周辺整備他キャンパスランドスケープ計画 | 1) 平成24年度に「水辺再生事業」の主要部が完成となり、25年度はその周辺整備が完成しました。 | 83.0 | 50.1 | 32.9 |
| | 2) 中央棟の改修(外壁、1～3階の配管、衛生設備他) | 2) 経年劣化した配管・衛生設備の更新および美装化改修を実施しました。また、平成25年度から2か年の予定で外壁補修工事を進めています。 | 250.0 | 146.6 | 103.4 |
| | 3) CAL教室の情報機器更新 | 3) CAL教室8室の情報機器を更新し、全教室同一環境にすることで、より円滑な管理運営が可能となりました。 | 47.8 | 50.4 | △2.6 |
| | 4) 個人研究室他のPC等更新 | 4) 既存PCのOSサポート終了に伴い、PCおよび関連情報機器の更新を実施しました。 | 25.4 | 35.4 | △10.0 |
| 地域貢献関係等 | 1) オープンカレッジ、特別市民講座の実施 | 1) 広報強化により、本学の公開講座を広くアピールし、受講者の様々なニーズに応えるべく、春・秋・通年167講座を開設し、講座の拡充・充実を図りました。 | 1.1 | 2.0 | △0.9 |
| | 2) 地域総合研究所、環境共生研究所の市民向けシンポジウム開催 | 2) 「大都市近郊地域(ポスト・ベッドタウン地域)と女性」、「衛星による世界の降水観測の現状について」のシンポジウム等を開催し、情報発信を積極的に展開しました。 | 4.0 | 1.2 | 2.8 |
| | 3) 埼玉県、草加市をはじめとした周辺自治体、UR都市機構等との連携強化 | 3) 草加市文化交流事業に積極的に関わるべく、各種連絡協議を行ないました。また、松原団地駅西側のまちづくりに係る草加市、UR都市機構との意見交換会を開催しました。 | 0.3 | 0.3 | 0.0 |

主な用語について

- 帰属収入** 当該年度に純粋に帰属する収入で、負債となる借入金や次年度分の授業料等の前受金などは計上されない。
- 学生生徒納付金** 授業料、入学金、施設設備費、その他の実習費等。
- 手数料** 入学検定料、証明手数料等。
- 補助金** 国や地方公共団体等からの補助金。
- 雑収入** 他のいづれの収入科目にも該当しないもの。(本学では主に退職金財団からの交付金等。)
- 基本金組入額** 学校会計では、帰属収入から、学校の基礎となる資産、将来計画のための資産、基金(奨学基金等)として継続的に保持する資産、恒常的安定経営のための資金の4項目について基本金として確保し、残りを消費支出として運営に充てるように規定している。

- 消費支出** 当該年度において消費される人件費、教育研究経費、管理経費と資金の移動を伴わない退職給与引当金繰入額、減価償却額等が計上される。
- 人件費** 専任の教員、職員、及び非常勤の教員、臨時職員に支給される給与、賞与、各種手当、並びに健康保険、年金、労働保険などの大学負担分(所定福利費)と、退職給与引当金繰入額の総額。
- 教育研究経費** 教育研究に直接要する経費の他、教育研究を補助するための事務費、学生厚生に要する経費、入学試験の経費、及びこれらの諸活動を行う施設設備を維持する経費、並びにその減価償却額の総額。

平成26年度事業計画のポイント

創立50周年とその後の50年に向けて

今年度の取り組みをお知らせします。

平成26年度に、獨協大学は創立50周年を迎えます。大学創立50周年事業を積極的に展開するとともに、次の50年に向け、「伝統と革新」をキーワードとして不断の改革をもって歩み続けていく新たなスタートの年とします。

教学関係

- 国際環境経済学科支援
- 大学基準協会認証評価申請
- 全学共通カリキュラム英語教育の支援
- FD、SD活動の推進
- 国際交流活動の推進

開設2年目となる「国際環境経済学科」の運営支援を行います。自己点検・評価に関し、これまで準備を進めてきた大学基準協会認証評価の申請を行います。全学共通カリキュラム英語教育は、これまでの成果を踏まえ支援を継続します。教育・研究の質の保証ならびに職員力向上のため、FD、SD活動を引き続き推進します。国際化に伴う留学制度の検討・調査に取り組みます。

学生サービスその他

- 創立50周年記念事業
- 東日本大震災罹災学生の支援
- キャリア形成教育・キャリアカウンセリングの支援
- 奨学金による学生支援

「創立50周年記念事業」は「創立50周年記念寄付金募集」事業、「創立50年史」の編纂とともに、積極的に進めてまいります。東日本大震災罹災学生に対し、引き続き学費減免等の特別措置を講じます。また、今後生じうる災害に備え、災害救助法適用地域の罹災学生への支援策を検討します。キャリアカウンセリングの強化による就職支援や奨学金による経済的支援は、「父母の会」からの援助も受けて継続します。



学生センターに設置された50周年記念ロゴマーク

今年度の主要重点項目

- 国際環境経済学科支援
- 大学基準協会認証評価申請
- 全学共通カリキュラム英語教育の支援
- FD、SD活動の推進
- 国際交流活動の推進
- 創立50周年記念事業
- 東日本大震災罹災学生の支援
- キャリア形成教育・キャリアカウンセリングの支援
- 奨学金による学生支援
- 創立50周年記念館(仮称)の建設計画の推進
- 35周年記念館の空調機設備の更新
- 旧図書館の取り壊し
- 地域貢献に関するシンポジウム開催
- 埼玉県、草加市をはじめとした周辺自治体、UR都市機構等との連携強化

施設・設備関係

- 創立50周年記念館(仮称)の建設計画の推進
- 35周年記念館の空調機設備の更新
- 旧図書館の取り壊し

創立50周年記念館(仮称)の建設計画を進めます。併せて、第2次ランドスケープ計画を推進し、施設周辺の整備について調査検討を図ります。

地域貢献関係等

- 地域貢献に関するシンポジウム開催
- 埼玉県、草加市をはじめとした周辺自治体、UR都市機構等との連携強化

本学が擁する各研究所による地域向けシンポジウム開催や、地域と子どもリーガルサービスセンターが実施する相談活動やワークショップ等を通じ、地域貢献を図ります。また、草加市文化交流事業に積極的に関わるとともに、UR都市機構等とも連携し、新たなまちづくりに協力します。

平成26年度 事業計画書(主な内容)

(単位:百万円)

| | 事業名称 | 事業内容 | 予算 |
|------------|--------------------------------------|------------------------------------------------------------------|-------|
| 教学関係 | 1) 国際環境経済学科支援 | 1) 平成25年度に開設された「国際環境経済学科」の運営支援を行います。 | 3.0 |
| | 2) 大学基準協会認証評価申請 | 2) 自己点検・評価に関し、これまで準備を進めてきた大学基準協会認証評価の申請を行います。 | 4.8 |
| | 3) 「獨協大学ポータルサイト」の機能拡充 | 3) 利用者ニーズに対応した機能の拡充を進めます。 | 3.0 |
| | 4) 全学共通カリキュラム英語教育の支援 | 4) 「EGAP英語教育の充実(平成21年度大学改革推進事業採択プログラム)」の成果を受け、引き続き支援します。 | 22.5 |
| | 5) FD、SD活動の推進 | 5) FD、SDを推し進め、さらなる教育環境改善に努めます。 | 14.6 |
| | 6) 国際交流活動の推進(国際化に伴う留学制度の検討・調査含む) | 6) アジア留学フェア(APAIE)などに参加し、新規協定校開拓の機会を模索します。 | 0.2 |
| 学生サービス・その他 | 1) 「創立50周年記念事業」の実施 | 1) 創立50周年記念事業を企画・立案し、積極的な広報活動を行い、各種事業を実施します。 | 85.0 |
| | 2) 「創立50周年記念寄付金募集」事業 | 2) 創立50周年記念事業の実施と関連して、広く記念寄付金の募集を継続します。 | |
| | 3) 「創立50年史」の編纂 | 3) 『獨協大学五十年史』の編纂を行います。 | |
| | 4) 東日本大震災罹災学生の支援 | 4) 東日本大震災から3年が経過しますが、罹災学生支援として、引き続き学費減免等の特別措置を講じます。 | 10.0 |
| | 5) 災害救助法適用地域の罹災学生への支援策の検討 | 5) 災害救助法適用地域の罹災学生への支援策の検討を進めます。 | 0.1 |
| | 6) キャリア形成教育・キャリアカウンセリングの支援 | 6) 引き続きキャリアカウンセリング強化による就職支援を行います。 | 17.1 |
| | 7) 奨学金による学生支援(「父母の会」からの援助他) | 7) 経済的事由により学業を断念することがないよう、「父母の会」とも連携を図り、奨学金を給付します。 | 26.4 |
| | 8) モバイル端末対応を含めたWEBサイトの拡充 | 8) WEBサイトを重要な情報発信源と捉え、引き続き拡充を図ります。 | 12.0 |
| | 9) ワーク・ライフ・バランスに関する検討・調査 | 9) 働きやすい職場環境の検討・調査を引き続き行います。 | 0.1 |
| | 10) 抗体検査の実施費用補助 | 10) 感染症予防対策の一環として、麻疹・風疹の抗体検査を実施します。 | 0.9 |
| 施設・設備関係 | 1) 創立50周年記念館(仮称)の建設計画の推進 | 1) 創立50周年記念事業の一環として、創立50周年記念館(仮称)の建設計画を推進します。 | 145.0 |
| | 2) 第2次ランドスケープ計画の推進 | 2) 創立50周年記念館(仮称)建設に伴い、施設周辺の整備等の調査・検討をします。 | |
| | 3) 中央棟の改修(外壁他) | 3) 経年劣化した中央棟外壁改修を継続して実施します。 | 100.0 |
| | 4) 35周年記念館の空調機設備の更新 | 4) 経年劣化した空調機設備を更新します。 | 107.0 |
| | 5) 事務システム基盤(ネットワーク、サーバー等)の更新 | 5) 導入後相当年数が経過するため、ネットワーク、サーバー等の更新を行います。 | 9.4 |
| | 6) 次期事務情報システムの検討・調査 | 6) 次期事務情報システムの検討・調査に着手します。 | 0.1 |
| | 7) 旧図書館の取り壊し | 7) 創立50周年記念館(仮称)の建設に伴い、旧図書館を取り壊します。 | — |
| | 8) 松原団地建て替えに伴う大学用地取得等の検討・調査 | 8) 大学用地取得等について検討・調査を行います。 | 0.1 |
| 地域貢献関係等 | 1) オープンカレッジ、特別市民講座の実施 | 1) 受講者の様々なニーズに応え、講座等を通して地域貢献を図ります。 | 0.4 |
| | 2) 地域貢献に関するシンポジウム開催(研究所等) | 2) 地域社会に向けたシンポジウムを開催し、情報発信を積極的に展開します。 | 9.6 |
| | 3) 埼玉県、草加市をはじめとした周辺自治体、UR都市機構等との連携強化 | 3) 「松原団地駅西側地域まちづくり連携協定」に基づき、相互に連携協力を図ります。また、草加市文化交流事業に積極的に関わります。 | 0.8 |
| | 4) 地域市民との意見交換会等の実施 | 4) 地域市民との交流の場として、意見交換会等を実施します。 | 0.3 |
| | 5) 高校生への大学施設(図書館)開放 | 5) 夏季休業、春季休業期間に、高校生に対し図書館を開放します。 | 0.1 |